

治験NEWS



今年の夏、豪雨災害に遭われた皆さまにはお見舞い申し上げます。
東京オリンピック・パラリンピックの余韻が残る今号は歯科病院・臨床研究支援室がお届けします。

昭和大学 臨床研究支援センター・支援室

発行元：昭和大学8病院臨床研究（治験）支援合同会議

発行責任者：小林 真一

発行年：2021年9月 第52号

歯科病院担当 臨床研究アドバイザーのご紹介

こんにちは、昭和大学臨床研究アドバイザー歯科病院担当の龍 家圭です。

昭和大学歯学部を卒業してから、臨床薬理学を通して、臨床研究のお作法や、倫理的な考え方、研究の組み立て方を学んできた結果、臨床研究アドバイザーという立場をやらせていただいております。

臨床研究アドバイザーの業務はシンプルで、臨床研究に関係することはなんでも相談にのりますというものです。その中でも「こんな研究計画があるけど、どうだろうか？」という旨の相談が一番多い印象です。例えば、研究の実現可能性や評価項目を整理していくと、一つの研究計画を分解して2つの研究になることもあります。結果として、「研究目的がはっきりした」「研究がやりやすくなった」という声も聞きます。

まだまだ未熟ですが、少しでも悩んでいたら遠慮なくご相談ください。

日本一、垣根の低い相談窓口を目指していきたいと思っております。

相談は、対面だけでなく、オンラインミーティング、メールでもなんでも受け付けられます。臨床研究アドバイザーの相談フォームよりお申込みされるか、もしくは臨床研究支援室にご連絡ください。

皆様のエビデンス創出に貢献できれば幸いです。



相談フォーム

◆◆◆ 倫理講習会の受講方法と履歴確認方法について ◆◆◆

本年7月1日より実施しております「臨床研究に関する倫理講習会」は、オンラインで受講することが可能です。また、原則倫理講習会の受講証明書は発行しておりません。

倫理講習会の受講履歴・受講日は、学内専用ページにて公開されております。受講履歴の確認は倫理講習会のページの最下部からアクセスすることが可能です。

本件についてご不明な点等ございましたら、SURAC 臨床研究支援課にお問い合わせください。
03-3784-8129





◆ 歯科用局所麻酔薬「アルチカイン製剤」の医師主導治験を行っています。

現在、歯科麻酔科と顎顔面口腔外科では、国内では20年ぶり4剤目となる歯科用局所麻酔薬の薬事承認を目指し、「アルチカイン製剤」の医師主導第Ⅲ相試験を行っています。本剤は欧米では多く使用されており安全性も高く、基礎疾患のある方や高齢者の方の歯科麻酔薬の選択肢が増えることで、患者さんにより安全性の高い歯科治療の提供が期待されます。治験薬投与当日は歯科医師とCRC6名が必要ですが、チームワークを発揮して行っています。

◆ 歯髄幹細胞製造の原料となる乳歯の提供体制を構築しました。

（昭和大学歯科病院とキッズウェル・バイオ株式会社との連携）

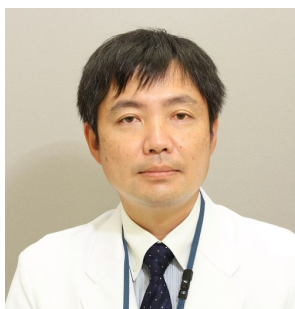
昭和大学歯科病院・内科クリニックでは、生え変わりの乳歯から得られる「歯髄幹細胞」を活用した治療薬（再生医療等製品）の原料となる乳歯の供給システムを構築致しました。若い提供者（ドナー）の乳歯から得られた細胞は特に分化・増殖力が強く、高い組織再生能が期待されております。また、萌出交換に伴い乳歯は生え変わるため、ドナーの負担が極めて少なく、採取のタイミングが多いといった特徴もあります。

歯科病院臨床研究支援室スタッフ一同より



皆さま、こんにちは！

歯科領域の治験、臨床研究を扱う、歯科病院臨床研究支援室です。



鈴木 信也 薬局長

8月より副支援室長および試験薬管理者として、鈴木 信也薬局長が就任いたしました。これからも力を合わせて、業務を行って参ります。

どうぞよろしくお願いいたします。